

スピリチュアリティとエネルギーケアの理解を深めよう！ スピエネット連続フォーラム16～17

名著『フィールド』解説シリーズ・第1回 “非局在性”と“ゼロ・ポイント・フィールド”

イギリスの医療・科学ジャーナリストのリン・マクタガートが著した『フィールド 響き合う生命・意識・宇宙』（インターシフト）は、種々のセラピーが作用するメカニズムをインフォメーション・メディスン（情報医療）として解説した話題のDVD『ザ・リヴィング・マトリックス』の基盤となった、伝説的な名著として知られます。

この連続講座は、「エネルギー医学・療法」の根拠を、フロンティア・サイエンスの視点から解説していく必聴の内容です。「エネルギー医学」に関心をお持ちの方は、ぜひ、この貴重な連続講座にご参加下さい。

★13:30～14:30「名著『フィールド』の意義と非局在性」 神尾 学（ホリスティック・リーディング研究所代表）

名著『バイブレーション・メディスン』から『ザ・リヴィング・マトリックス』への架け橋となるのが、この『フィールド 響き合う生命・意識・宇宙』（インターシフト）です。多様な先端科学の分野で同時並行的に起きてきたパラダイム・チェンジに共通する本質を、元アポロ飛行士エドガー・ミッチェルが注目した「非局在性」も含めて紹介します。

★14:40～15:40「“ゼロ・ポイント・フィールド”とは何か」 寺岡丈織（NES HEALTH JAPAN）

フィールド（場）の中でも、もっともエネルギー状態が低い「真空」ともいわれる場が「ゼロ・ポイント・フィールド」です。しかし、この場にある「ゼロ・ポイント・エネルギー」は、たった1m³の空間だけで世界中の水を沸騰させることができるといわれています。この本の中心となる「ゼロ・ポイント・フィールド」の意義、謎に迫ります。

★15:50～16:45 スピエネット対話<ダイアログ> 神尾 学×寺岡丈織

第1回目として、フィールド、場を巡る広い視点からダイアログを行い、2回目以降につながるように、立体的に理解を深めていきます。



■日 時:2016年10月1日(土)13:30～16:45

■場 所:連合会館 401号室

■参加費:

シリーズ全4回 ①会員 8,000円 ②一般 12,000円

今回のみ参加 ③会員 2,500円 ④一般 3,500円

* 会員とは主催、共催、協力団体の会員（ヒーリングタッチ東京はヒーリングタッチ・スチューデントが会員扱い）を指します。

■申し込み手順

1. 必要事項(1 氏名、2 住所、3 電話、4E-mail、5 所属(①会

員(団体名)・②一般)を、ho-kanto@tg.rim.or.jpへ(締切9/

23(金))。*または、FAXで 03-5572-8219まで。

(当日のみ携帯:080-5484-8008)

2. 申し込み受理のお知らせ到着後1週間以内にお振込み下さい。三菱東京UFJ銀行 西新宿支店(普通)0057567

特定非営利活動法人日本ホリスティック医学協会

3. お振込み後、受付完了となります。お振込後の参加費はご返却できませんので代理受講でご対応をお願い致します。

<主催>NPO 法人日本ホリスティック医学協会関東フォーラム委員会 (生活習慣病予防指導士3単位)

<協力>日本アントロポソフィー医学のための医師会、日本ソマティック心理学協会、ヒーリングタッチ東京、NPO 法人サイモン療法協会、日本トランスパーソナル学会

<2回目以降のスピエネット連続フォーラムの日時・内容>

全4回：主催・共催・協力団体の会員8,000円、一般12,000円

各回：主催・共催・協力団体の会員2,500円、一般3,500円

★フォーラムⅡ：2016年12月3日(土) 13:30~16:45 (会場：連合会館401号室)

“生体光子(バイオフィトン)”と“水”の情報伝達

・「生体光子(バイオフィトン)とは何か」 寺岡里沙(NES HEALTH JAPAN)

「光」—その量子力学的なものとして「光子」がありますが、生物から発せられている「生体光子(バイオフィトン)」はとても重要な意義があることが分かってきました。ポップという科学者が追究した、生体光子の生体内での「情報医療(インフォメーションアルメディスン)」としてのメカニズムを中心にご紹介します。

・「水」の情報伝達のメカニズムを探る」 山本 忍(神之木クリニック院長)

「水」—その生体内での重要性はいうまでもありませんが、ホメオパシーやフラワーエッセンス、波動水の作成にはこの「水」が欠かせません。「水」がどのようにエネルギーの情報を保持し、伝達するのかについて、詳細に研究したフランスの科学者バンヴェニストが到達した世界はどのようなものだったのでしょうか。

○スピエネット対話<ダイアログ> 寺岡里紗×山本 忍

普段、何気なく接しているこの「光」と「水」の量子力学的な性質や力について、さらに深めていきます。

★フォーラムⅢ：2017年2月4日(土) 13:30~16:45 (会場：未定)

“脳・意識・ホログラフィー”と“ヒーリングのメカニズム”

・「脳・意識と“ホログラフィー理論”」 久保隆司(日本ソマティック心理学協会会長)

私たちの「意識」は、宇宙と共鳴しているといわれます。そして、その中心的な働きは脳が担っていますが、この脳の中でも細胞骨格といわれる“微小管”が注目されています。この微小管は、さまざまな情報をどのようにして記憶、保存するのでしょうか。そのキーワードになるのが「ホログラフィー」です。

・「“ヒーリング”のメカニズムを探る」 戸田美紀(ヒーリングタッチ東京代表)

古代から行なわれ、そして現代でも魅力を失っていない「ヒーリング」。世界中にはさまざまなヒーリング、ヒーラーが存在しますが、その原理・メカニズムを追究した研究者がエリザベス・ターグです。ターグが得た詳細な知見から見えてきたヒーリングの共通項、そして極意についてを存分にご紹介していきます。

○スピエネット対話<ダイアログ> 久保隆司×戸田美紀

脳・意識について、そしてヒーリングについて、潜在意識の意味をも交えて深めていきます。

★フォーラムⅣ：2017年4月1日(土) 13:30~16:45 (会場：未定)

“量子生物学の夜明け”と“信念・想念の力”

・「生物にも“量子現象”が起こるメカニズムとは」 降矢英成(赤坂溜池クリニック院長)

最先端の物理学でさまざまな「量子現象」が発見されていますが、その恩恵は物理学・化学の領域に留まっていて、マクロのスケールである生命や生物学の領域には波及してきていない感があります。しかし、近年になって、分子レベルや生物のレベルでも量子現象が起こる証拠やメカニズムが分かってきました。

・「“信念・想念の力”と“時間の逆行性”を探る」 川畑のぶこ(NPO法人サイモン療法協会副理事長)

人間にとってもっとも重要な機能の一つである「意識」—そして、この意識の中でも「信念」とか「想念・祈り」といわれる機能の作用が注目されています。例えば、メンタル・リハーサル、マイナスの想念の効果、過去への祈り、などといった不可思議な現象の意義から得られるものについて、じっくりと検討していきます。

○スピエネット対話<ダイアログ> 降矢英成×川畑のぶこ

最終回は「量子生物学」と「人間の意識の作用」を中心に、次作の『意思のサイエンス』(PHP)を取り上げます。